

日根小だより



令和8年3月9日
泉佐野市日根野1684
泉佐野市立日根野小学校
校長室
Tel.072-468-0789

早春の候、保護者の皆様や校区の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は本校の教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

先月は、インフルエンザ等への感染の急増に学校閉鎖を余儀なくされるという、大変な経験をいたしました。体調を崩された方はしんどい思いをされたのではないのでしょうか。とにかく、しっかり食べてしっかり寝て、手洗いうがい等々、自己免疫を高めたり自己防御策を講じたりすることが大切だそうです。まだまだ三寒四温、気を付けながら、年度末までがんばりたいですね。

さて、屋外にて飼育を続けておりました日根野小学校のうさぎたちについて、ここ数年の夏の猛暑から、「小動物の屋外飼育について、もはや難しいのでは。」と、ある動物愛護保護団体の方からご指摘をいただきました。実際、私たちにはわかりにくい病気やケガを見つけていただき、うさぎたちが過ごしやすい環境に保護して治療をしてくださいました。そして、引き取って大切に飼育してくださる「里親」さんを見つけてくださり、引き渡していただきました。小屋にシートで屋根を覆ったり、よこの壁にも風よけの幕を張ったりと、真夏の暑さや冬の寒さ対策を行いましたがいずれも応急処置に過ぎません。うさぎたちにとって快適な環境で大切に飼育されながら、里親さんを見つけて引き渡していくこととなり、段階的にすべてを保護していただくこととなりました。もし、保護者や地域の方、お知り合いの方でうさぎを引き取り、大切にお世話していただける方がおられましたら、お譲りしますので学校までお申し出ください。残る小屋については、最後のうさぎが保護された後、給食調理室建設への衛生上の懸念から解体・撤去となります。

その小屋は日根野小学校の150周年記念式典の象徴のひとつとして、地域の方や当時のPTAのみなさまに大変お世話になって建てていただいたものなので、当時の実行委員会のみなさまにお集まりいただき、説明会を開きました。思いを込めて建てていただき年数も浅いことから大変残念とのことでしたが、気候の変動・時代の流れ等々と、温かくご理解くださいました。

来年度になってからの過ごしやすい季節のころ、うさぎがまだいる状態で、保護者や地域のみなさまにご覧いただく機会を設けたいと思っています。校区内の町会から回覧板等でもご案内させていただきますので、その時はぜひお越しください。

《今後の予定とお知らせ》

- 【3月】 ・10日(火) 卒業生を送る会
- ・17日(火) 小学校卒業式
- ・24日(火) 修了式



*予定は変更になる可能性があります。
学年だより等でご確認願います。

【生徒指導コーナー】 《PTA講演会》

2月6日(金)に泉佐野市子ども家庭アドバイザーの西友子さんを講師にお招きし、全ての保護者のみなさまを対象に、「わが子の“ホント”見つけ方 伸ばし方」という講演会を行いました。希望制ではありましたが、80名を超える保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。

子どもの才能を見つけて伸ばしていくために、本人の中での小さな変化をみていくことや、子どもの言語能力を向上させるために、大人の考えを入れずに、子どもの話を「だれが」「どうして」「どう思った」「どうなりたいか」といった言葉を使って聞くことが大切ということをお話しました。

子どもが少しでも自分に自信をもつことができ、自分の思いを相手に伝えることができるように、学校とお家の方々の両輪で支えていきたいと思っております。ご協力よろしく申し上げます。



【すまいるコーナー】 《正月遊び》

3学期最初の自立活動で、グループごとに分かれての「正月遊び」をしました。体育館でカルタ、コマ回し、けん玉をしました。コマ回しは、うまくひもが巻けない児童もいましたが、助け合いながら楽しくコマを回したり、けん玉をしたりしました。コマを回す児童の中には、「手にのせたよ。」と、話す児童もいました。カルタは、札を読んでもくれる児童と、集中して真剣な表情で取り札を取ろうとする児童が、どちらも一生懸命がんばっていました。

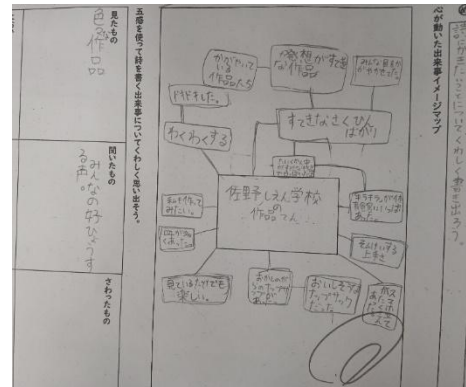
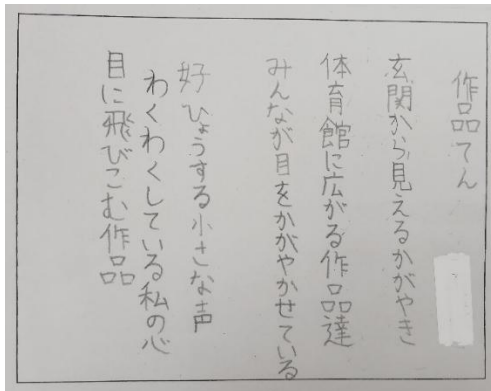
運動場では、自分たちで作った凧をあげました。とっても良いお天気で、良好な風も吹き、凧を空高くあげることができました。寒い中でも、みんな笑顔で楽しんで参加することができました。



【人権コーナー】《4年生 佐野支援学校の児童・生徒の作品に触れて》

佐野支援学校の児童・生徒の作品を見に行きました。支援学校の大きな体育館いっぱいに表示されたたくさんの作品にふれ、驚いていました。お花紙を使った立体作品、たくさんの人で協力して作った高さも大きさもある作品、ライトで照らしてその透けて見える世界を楽しむステンドグラス、めくって楽しめるカレンダー、長い時間をかけて一生懸命編んだ織物の作品、木材を使用したスマホたてや、鍵かけフック、風合いのある焼き物の皿やコップ、Tシャツ染め、自分だけの世界を表現した時計、大きなパソコングラフィックス、釘で銅板をうった作品、ナップサック、あずま袋、風船に和紙を貼ったキャラクター作品、元気な字で大きく書かれた書道など、他にも多くの作品がありました。素材も作り方も少しずつ違い、それぞれの作品にこめられた思いがこちらにもじんわりと伝わってくるようでした。児童からは、「わたしこれ好き。作ってみたい。」「お皿を作るんやったらこの形と色がカッコいい。」「どんな風で作ってるんやろう。綺麗すぎる。めっちゃ尊敬する。」などと感動の声が聞こえてきました。素敵な作品の数々から刺激を受け、今後の図工の制作につなげようとする思いを持つことができました。

2学期と一緒に交流をさせていただいたみなさんの作品にふれることができ、さらに佐野支援学校の児童・生徒のみなさんの魅力を知る機会を持つことができました。



【研究コーナー】《5年生 研究授業》

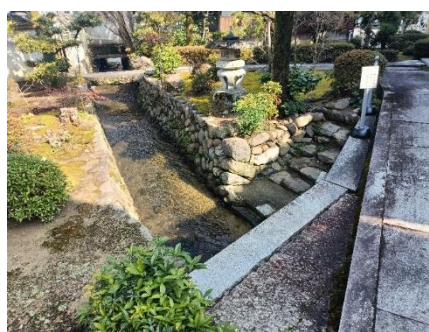
1月21日(水)に、道徳科の『くずれ落ちただんボール箱』という教材で研究授業を行いました。だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場や気持ちを考えて親切にすることの大切さについて考える教材で、授業では自分の生活を振り返り、「親切にしたこと」について発言したり、「親切な行為を人から認められなかったときの気持ちや思い」についてクロームブックのホワイトボード機能に意見を書き込んだりしました。クロームブックを使うことで、クラス全員の意見を一度に見ることができるので、自分と同じ意見やちがった意見などを知ることが容易になり、友だちと思いを共有したり、自分の考えをより深めたりすることができました。



3年生【井川(ゆかわ)用水の学習をしています】

社会で昔の暮らしについて学習しています。これまでに、鉄道ができたころ(約130年前)・高速道路ができたころ(約80年前)・電化製品がではじめたころ(約50年前)の人々の生活について学習しました。また当時の人が使っていた道具を知り、1学期に行った歴史館いずみさのでの体験を思い出しながら、今の暮らしとの違いに驚いた様子でした。

これからは、井川用水の学習で、農業に必要であった水を壱井川から人々が工夫して引き、農業の発展に役立てたということを学びます。さらに、社会見学で、壱井川上流の取水口から井川用水を通して浄水場横にある大きなため池の十二谷池までをたどります。最終地点につくまでにたくさんの田畑を通り、人々が井川用水を農業に役立てている様子を見学しながら昔の人々の偉業を感じます。おうちでも近くを通ることがありましたら、一緒に見たり、おうちの方の子どもの頃の暮らしについて話したりしていただくと子どもたちの学びが深まると思います。どうぞよろしくお願いいたします。



5年生【命の授業】

1月30日(金)、谷口病院の院長先生に「命の授業」をしていただきました。将来の夢の話や小さな命のはじまりから誕生についての話を分かりやすく教えていただきました。また、新生児と同じ重さの赤ちゃんの人形を抱っこする体験もさせてもらいました。「思ったより重い。」「いとこ赤ちゃんやから慣れてるねん。」などと言いながら、うれしそうに抱っこしていました。

学習のふり返しには、

- ・妊娠の大変さが分かり、命がけて産んでもらったことに感謝することができました。
- ・自分を産んでくれたお母さんや自分を支えてくれている人たちに感謝したいと思った。
- ・自分らしさや将来の夢についての話を聞き、自分らしさをつらぬこうと思った。
- ・これからも、自分を大切にしていきたいし、相手のことも大切にしていきたい。

などと書かれていました。自分は、かけがえのない存在で、同じように相手もかけがえのない存在であることを実感し、これからの生き方について考えることができました。

